

令和3年12月6日  
デジタル・フォレンジック・コミュニティ

# サイバー空間の公共空間化と警察の取組

警察庁長官官房  
サイバーセキュリティ・情報化審議官  
河原 淳 平

## サイバー空間をめぐる情勢

### ◆ サイバー空間の「公共空間」化に伴う安全・安心の確保

- 新型コロナウイルスの感染拡大に伴う急速なデジタル化の進展
- サイバー空間は、全国民が参画し、重要な社会経済活動を営む、これまで以上に重要かつ公共性の高い場へと変貌を遂げていく

### ◆ ランサムウェアによる被害の発生状況

- 国内外でランサムウェアによる攻撃が多発しており、広く国民生活に影響を及ぼす事態が生じている

### ◆ サイバー攻撃情勢

- 政府機関、重要インフラ事業者等のシステムをダウン、破壊し、又は情報を摂取するサイバー攻撃が世界的規模で発生

### ◆ サイバー犯罪情勢

- インターネットバンキングに係る不正送金事犯について、引き続き、その被害額は高止まり

## 諸外国における取組

### ◆ 各国におけるサイバー攻撃対策の推進

- 近年の深刻化するサイバー攻撃に対処するため、各国政府はサイバーセキュリティ対策を推進するための政策を打ち出している

### ◆ パブリック・アトリビューションの推進

- パブリック・アトリビューションは、アトリビューションにより解明した攻撃者を公表し、非難することでサイバー攻撃を抑止する活動
- 国家が背景にあるサイバー事案等について、関係国が連携して、パブリック・アトリビューションを実施

### ◆ 国際共同オペレーションの展開

- 国境を越えて行われるサイバー攻撃やサイバー犯罪に対処するため、諸外国は共同で捜査活動等を展開
- 国際共同オペレーションにより、犯人検挙等がなされることで、サイバー犯罪の抑止につなげていく

## 我が国政府における取組

### ◆ 政府のサイバーセキュリティ推進体制

- 自由、公正かつ安全なサイバー空間を確保するべく、政府一体となった推進体制を構築

### ◆ サイバーセキュリティ戦略

- 令和3年9月に策定されたサイバーセキュリティ戦略では、「Cybersecurity for All」が掲げられ、「誰一人取り残さない」サイバーセキュリティの確保に向けた取組を推進

### ◆ 政府全体において警察に求められる役割

- 捜査権限を有する警察に求められている役割は、サイバー攻撃・サイバー犯罪の捜査、実態解明及び未然防止
- 地域住民と密接なつながりのある警察等の機関が、サイバー空間の一層の安全確保に努める必要

## 警察におけるサイバー事案への対処の現状

### ◆ サイバー事案に対処する現行の警察の対処体制

- 生活安全部門、警備部門、情報通信部門等の各部門がそれぞれの所掌の範囲内でサイバー事案に対処するとともに、各部門間で情報共有を実施

### ◆ 情報技術解析部門の役割

- 情報技術解析部門では、犯罪の立証のための電磁的記録の解析技術やその手続き（デジタル・フォレンジック）に係る取組を推進

### ◆ インターネット上の脅威情報の収集・分析

- 警察庁サイバーフォースセンターにおいて、24時間体制でサイバー攻撃の予兆把握を行い、関係機関への注意喚起、情報提供を実施

### ◆ サイバー空間の脅威に対処するための各種取組

- 技術・サービスの悪用や犯罪インフラ化を防ぐため、警察では取締りや事業者への働き掛けを推進
- 警察は、一般財団法人日本サイバー犯罪対策センター（JC3）に捜査関連情報等を共有するなどして、産学におけるサイバーセキュリティに関する取組に貢献

## 新組織の立上げについて

### ◆ 「世界一安全な日本」には、警察の対応の高度化によるサイバー空間の安全・安心の確保が不可欠

- サイバー空間における脅威は極めて深刻な情勢
- サイバー空間の公共空間化に伴い、サイバー空間の安全・安心の確保は、国民にとっても、これまで以上に重要かつ必要不可欠なものに

### ◆ サイバー局（仮称）、サイバー隊（仮称）を設置し、サイバー事案に対する対処能力を強化

- サイバー事案に関する情報収集や分析、対策を一元的に行い、より効果的に進めていく
- サイバー攻撃やサイバー犯罪の多くが国境を越えて行われている実態を踏まえ、国際連携をより一層推進